



平成20年9月22日

各 位

会 社 名 株式会社CFSコーポレーション
 代 表 者 代表取締役社長 石田 岳彦
 (コード番号：8229 東証1部)
 問 合 せ 先 執行役員財務本部長 佐藤 信栄
 電 話 番 号 045-476-7474

平成21年2月期 中間期 業績予想の修正に関するお知らせ

平成20年4月4日付け「平成20年2月期 決算短信」にて公表いたしました平成21年2月期
 中間期の業績予想を下記のとおり修正いたしましたので、お知らせいたします。

記

1. 当中間期の連結業績予想数値の修正 (平成20年2月21日～平成20年8月20日)

(単位：百万円、%)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想 (A) (平成20年4月4日 発表)	73,000	400	400	150	※4円86銭
今回修正予想 (B)	73,900	800	850	400	12円96銭
増減額 (B-A)	900	400	450	250	—
増減率 (%)	1.2	100.0	112.5	166.7	—
(ご参考) 前中間期実績 (平成19年8月中間期)	72,294	△2	21	△222	△7円43銭

2. 当中間期の個別業績予想数値の修正 (平成20年2月21日～平成20年8月20日)

(単位：百万円、%)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想 (A) (平成20年4月4日 発表)	72,500	350	350	150	※4円86銭
今回修正予想 (B)	73,200	750	800	400	12円96銭
増減額 (B-A)	700	400	450	250	—
増減率 (%)	1.0	114.3	128.6	166.7	—
(ご参考) 前中間期実績 (平成19年8月中間期)	71,590	△93	△33	△242	△8円11銭

※「1株当たり当期純利益」の前回発表予想数値につきましては、平成20年6月30日発表の
 「平成21年2月期 第1四半期財務・業績の概況」に記載のとおり、平成20年6月11日
 に行われた第三者割当増資により増加した株式数を考慮し算出した数値を記載しております。

3. 中間期業績予想の修正理由（連結・個別）

当中間期においては、来店客数が増加し前期からの業績の回復基調が継続したことに加え、夏商戦の堅調な推移、季節商品の売上の増加ならびに調剤部門の順調な推移により、売上高は計画を上回ることができました。

また、販売費及び一般管理費につきましては、今後更に圧縮に努める必要がありますものの、業務改革の効果が着実に現れてきたこと等により、計画に比べ総じて削減することができました。

これらの結果、売上高、利益とも計画を上回り、連結売上高739億円、連結経常利益8億50百万円、連結中間純利益は4億円となる見込みです。個別業績の予想数値につきましても連結業績と同一要因により、売上高732億円、経常利益8億円、中間純利益4億円となる見込みです。

下半期につきましても、当社は「医・薬・食」同源の基本コンセプトをテーマとする「トータルヘルスケアのリーディングカンパニー」の実現を目指し、先般発表した中期3ヶ年経営計画の初年度の目標達成に向けて構造改革をはじめとする諸課題に積極的に取り組んでまいります。しかしながら、原材料価格の高騰に起因する消費物価の上昇や消費動向の変化等先行き不透明な要因もありますところから、平成21年2月期の通期業績予想につきましては、変更いたしませんでした。

(注) 上記の業績予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後の様々な要因によって予想数値と異なる結果となる可能性があります。

以 上